

りんご栽培情報 第3号

令和6年5月23日
J A アルプス
富山県富山農林振興センター

1 概況

「ふじ」の着果状況は、おおむね良好となっています。
今後は、品質の高い果実生産のため、早期の仕上げ摘果の実施、樹冠内の光環境や薬剤到達性を向上させるための新梢管理を行ってください。

2 病虫害防除

引き続き褐斑病の重点防除時期です。下表を参考にして、散布ムラのないよう防除を実施してください。なお、降雨により病害の感染が広がるので、雨前散布を基本とし、散布間隔が10日以上開かないよう心掛けてください。

カメムシ類の発生が平年よりも多い状況で、8月以降、果実被害が増える恐れがあります。園地で発生が確認された場合、スタークル顆粒水溶剤(2,000倍 年間3回以内)を単剤で散布してください。

ハダニ類は発生初期が重点防除時期です。高温・乾燥が続くと多発しやすくなるので、ほ場をこまめに観察して発生状況を確認し、早期防除に努めてください。

成木基準

(散布量：500L/10a)

回	時期	対象病虫害	使用農薬	希釈倍率	100L 当たり 必要 薬剤量
7	6月初旬	黒星病、斑点落葉病、褐斑病 ハマキムシ類、アブラムシ類、キンモンホソガ、モモシクイガ、ナシヒメシクイ (果実の表皮障害防止) (展着剤)	デランフロアブル	2,000倍	50 mL
			ダイアジノン水和剤34 (※1)	1,000倍	100 g
			クレフノン マイリノー	100倍 20,000倍	1 kg 5 mL
8	6月上中旬	斑点落葉病、褐斑病、輪紋病 褐斑病 ナミハダニ、リンゴハダニ (展着剤)	フロンサイドSC	2,000倍	50 mL
			トップジンM水和剤	1,500倍	66 g
			ダニゲッターフロアブル (※2) マイリノー	2,000倍 20,000倍	50 mL 5 mL
9	6月中下旬	【非ボルドー体系】 斑点落葉病、褐斑病、輪紋病、炭疽病 シンクイムシ類、クワコナカイガラムシ、 カメムシ類 (展着剤)	ダイパワー水和剤	1,000倍	100 g
			サイアノックス水和剤	1,000倍	100 g
		【ボルドー体系】 斑点落葉病、褐斑病、輪紋病、炭疽病 シンクイムシ類、クワコナカイガラムシ、 カメムシ類 (展着剤の加用は必要ありません)	マイリノー	20,000倍	5 mL
			ICボルドー412 (※3) サイアノックス水和剤	30倍 1,000倍	3.3 L 100 g

※1：コンピューザーRを設置している場合、ダイアジノン水和剤34の散布は必要ありません。

※2：殺ダニ剤の効果を高めるため、殺ダニ剤の散布の前日までに草刈りを行い、ハダニ類が下草から樹上に移動した後に殺ダニ剤を散布する。

※3：降雨が予想される場合は、薬害のおそれがあるためICボルドー412の散布を控える。

農薬散布の際は、濃度や対象病虫害など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。
また、周辺の他の作物や住宅等に薬剤が飛散しないよう十分注意してください。

3 仕上げ摘果(満開60日後(6月中下旬頃)を目途に終了してください。)

- 仕上げ摘果は、「ふじ」の場合4～5頂芽に1果(1果あたりの葉枚数が60枚程度)の割合で、

果実が大きくて形が良く、果梗（果実の軸）が太くて長いものを残してください。

- ・ 樹勢が強い樹や立ち枝、樹冠外部などは着果量を多めに、樹勢が弱い樹や下がり枝、樹冠内部などは着果量を少なめに調整してください。

【摘果する果実】

- ・ 奇形形・変形果・小玉果・果梗が細い果実・病虫害被害果など（図1）
- ・ 果台長が2 cm 以上、果台枝が20cm 以上の長いもの（青実果になりやすい）（図2）
- ・ 30cm 以上の結果枝の先端（腋芽を来年の優良な短果枝に育成するため）
- ・ 日焼け果になりやすい果実（日当たりが良いところで、すでに赤く着色している果実）

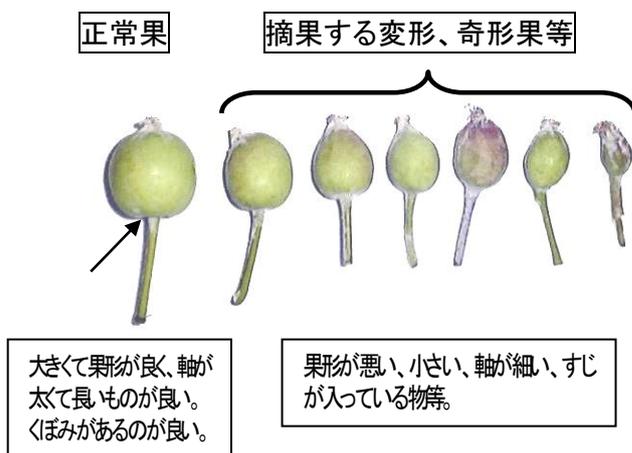


図1 摘果する果実の例



図2 結果部位の名称

4 新梢管理

- ・ 新梢の発生が多いと、樹冠内の光環境や薬剤の到達性が悪くなり、ハダニ類や褐斑病が発生しやすくなるので、下記を参考に新梢管理を行ってください。

【新梢管理の方法】

- ①主幹から直接発生した新梢や地生えは、すべて切除する。ただし、最上位主枝が主幹より細いか同等の太さの場合は、主幹上部に発育の良い新梢を1～2本残す。
- ②主枝・亜主枝の基部から1 m程度の範囲では、比較的発育が良く自立した新梢を20～30 cm間隔で数本残し（主枝・亜主枝の日焼け防止）、それ以外はすべて切除する（写真1）。なお、残す新梢は向きをそろえると光や薬剤の通りが良くなる。
- ③果実の肥大不良や青実果の発生を助長するので、主枝・亜主枝の中央～先端部分や側枝上の新梢は切除しない。
- ④新梢が繁茂し樹冠内部への薬剤の到達性を低下させている側枝は、新梢の切除ではなく、枝つりや支柱入れを行う。

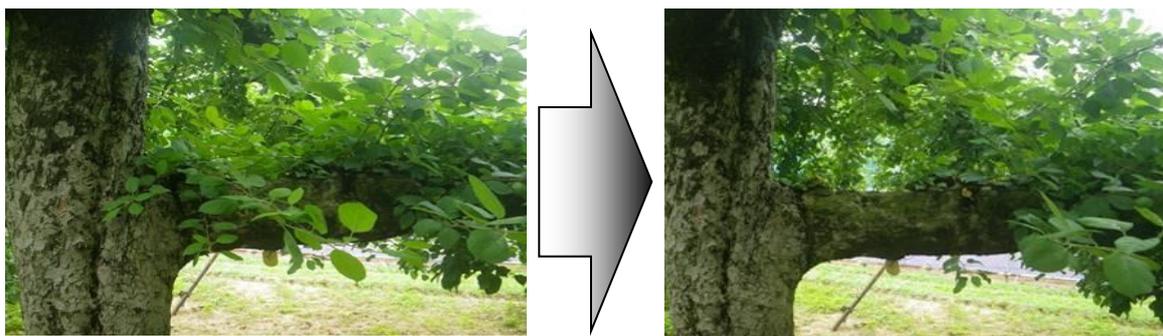


写真1 新梢管理の実施例（左：実施前、右：実施後）

- 農作業に当たっては、こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意してください。
- 脚立での作業や、農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。